



祝 牛久市 × ホワイトホース市

1985年にホワイトホース市と牛久市が姉妹都市提携調印を行ってから今年で40年を迎えました。今年、牛久市から交換青少年団14人がホワイトホース市を訪問しました。今回の特集では、

姉妹都市提携 40th

ました。約1年おきにお互いの訪問団を交互に派遣しており、40年の節目となるホワイトホース市と牛久市が姉妹都市として交流を深めてきたあゆみを振り返ります。

★ホワイトホース

- カナダ・ユーコン準州の州都
- 人口約3万人・面積416.54km²
- 夏(5~8月)平均気温20℃
- 冬(11~3月)平均気温-15℃

Canada

令和7年度交換青少年団 派遣レポート (7月23日~8月5日)

新型コロナの影響で、6年ぶりとなった交換青少年団の派遣。現地で温かい歓迎を受け、派遣団は同市のご家庭にホームステイをしながら、ハイキングやカヌー体験などを通じて現地の青少年たちとの交流を行い、絆を深めました。



歓迎会でふるまわれた日本の桜とユーコン準州の花(ヤナギラン)が描かれたケーキ

【リーダー：糸賀 菜那子さん】私を受け入れてくれたホストファミリーは、兄も以前お世話になった家族。親戚の家に行くような感覚でした。文化の違いを楽しむ中で、自然と共生した暮らしを体験し、自分の未来について深く考えるきっかけを得ました。国際交流の意欲がさらに高まり、大切な絆を感じることができました。

【副リーダー：前澤 匡慶さん】今回の派遣は見るもの聞くものが初めてのものばかりで、とても貴重で大切な2週間の経験だったと思います。現地の方々との英語での会話は少し不安でしたが、とても温かく気さくな方ばかりでしたので、楽しく生活することができました。機会があったらぜひまた訪れたいです。

この事業は、一般財団法人自治体国際化協会の助成事業により実施されました。

思い出 Pick Up!

第1回牛久市交換青少年団 (1987年8月16日~29日派遣)

当時私は社会人2年目。団長として不安もありましたが、充実した日々を過ごすことができました。WH市は小さなまちでしたが周辺の広大な自然に感動したのを覚えています。ホストファミリーをはじめ、人々は温かく優しい方ばかりでした。この訪問で、人との円滑なコミュニケーションには、まず自分自身の理解を深めることの大切さを学びました。また、大自然や民族文化に触れられたことも貴重な体験です。今後も多くの方がWH市を訪れ、たくさんの経験をしてほしいと思います。



訪問の様子は地元紙「ホワイトホーススター」に取り上げられました (1987年8月21日掲載)



【牛久市 × ホワイトホース市(以下WH市) 交流年表

1985	牛久町(当時)とWH市が姉妹都市提携
1986	第1回WH市民団が来市 WH市へ第1回交換青少年団を派遣(団長1人・団員5人)
1987	WH市へ第1回市民親善訪問団を派遣(111人) 姉妹都市交流写真展開催
1988	6月 市制施行を記念して市民センター(現：中央生涯学習センター)前に建立した「ふれあいの像」のミニチュアをWH市新庁舎落成を機に友好のシンボルとして寄贈
1990	ユーコンゴールドミッドナイトマラソンに牛久市民初参加 WH市から「友好の証」プレート寄贈
1996	6月 WH市を訪問した親善訪問団はバンクーバーで開催されていた国際交通博覧会にも参加し、日本館で河童ばやしを披露。飛び入り参加もあり大盛況に。
1997	4月 第1回WH市民団がシャトーで行われた「花見会」に参加し、河童ばやしで市民と交流する様子。
2003	SARSの影響により青少年団の派遣中止
2011	4月 姉妹都市提携25周年記念で震災直後に市民団がWH市を訪問。日本国総領事館には、日本への応援と鎮魂のメッセージとして千羽鶴と手紙が飾られていました。
2012	7月 牛久シャトーでホストファミリーとパーベキューを楽しむ様子。
2018	7月 中央図書館2階に「国際交流コーナー」が設置され、WH市交換青少年団員が見学。
2020	新型コロナの影響でWH市青少年団の来市を延期 姉妹都市提携35周年を記念しフォトコンテストを開催
2024	FMうしくうれしく放送でWH市青少年団団長として来訪した同市職員・本山氏出演の「カナダからの手紙～from ホワイトホース～」が放送開始
2025	令和7年度交換青少年団派遣

姉妹都市提携 40周年!

2025

牛久市 → WH市 派遣人数 **のべ411人**
WH市 → 牛久市 来市人数 **のべ239人**
(令和7年8月1日現在)

牛久市国際交流協会 ボランティア募集!!

牛久市では、市民を主体とした国際理解と国際交流を推進するためのさまざまな活動を行っています。国際交流に興味がある方はぜひお問い合わせください!

【主な活動内容】◎市内在住の外国人を対象とした日本語教室を開催
◎姉妹都市との交流(派遣やホームステイ受け入れなど)
◎国際理解教育講座の開催 ◎「かっぱ祭り」踊りパレード参加 など

★年齢・性別不問。市外在住でもOK!
英語ができなくても大丈夫です!

詳しくは牛久市国際交流協会ホームページ▶

FM-UU出演中! 現地の様子を中継でレポートしています!

WH市職員 本山 直人さん

私は18年間WH市に住んでいますが、これまで交流事業に参加した方々に会うことがあり、40年の積み重ねを感じます。最近の交流では、2023年にWHで開催したJapan Festの会場で牛久市国際交流協会料理部会が制作した日本料理の動画やレシピを紹介しました。その動画やレシピ等を使って、WHの市民が市主催のクッキング教室で日本料理作りを楽しむ活動が続いています。これからも素晴らしい交流が続くことを願っています。

FMうしくうれしく放送 毎月1回・金曜日午前10時30分~11時放送
UUラジオ854「カナダからの手紙～from ホワイトホース～」放送中!
(詳しくは本紙19ページ「FM-UU通信」をご覧ください)

牛久市長 沼田 和利

ホワイトホース市との姉妹都市提携40周年という記念すべき節目を迎えることができました。これまでお互いに派遣団を送り、迎え入れるなど市民同士の交流を重ねてまいりました。特に青少年団の交流は、未来を担う若い世代にとって貴重な経験であり、新たな出会いは一生心に残る宝物になったことでしょうか。これからも変わらぬ友情を育み続け、さらに両市が発展し続ける未来を楽しみにしています。

祝 両市長メッセージ

牛久市との素晴らしい姉妹都市交流が今年で40周年を迎えます。1985年以来、何百人もの市民が両市を歩き来し、友好関係を築いてきました。訪問を重ねるごとに友情が深まり、交流を通じて素晴らしい絆や価値が生まれ続けています。姉妹都市の関係は、平和、友情、そして共有を促進する非常に力強いものです。言語や文化が異なっても、市民同士の交流によって、両市の絆がこれからさらに深まることを願っています。

今回の訪問でプレゼントした牛久大仏のミニチュア

カーク・キヤメロン WH市長